



100万本のひまわりと  
茨城の名峰・筑波山の競演が目まぶしい！

# あけのひまわりフェスティバル

筑西市明野地区を代表するイベント「あけのひまわりフェスティバル」。

およそ100万本の八重ひまわりが筑波山を背景に咲き誇る光景は、息を呑むほどの圧倒的なパワーと美しさを感じます。  
今年も立派なひまわりを咲かせようと準備を進める「明野ひまわりの里実行委員会」に会いにいきました。

## 元気に育ちますように、子ども達も願いを込めて

取材を行ったのは、まだ梅雨が明けぬ6月下旬。すでに種を蒔き終えた約4haの広大なひまわり畑では、新芽が土の中からひょこりと顔を出し始めていました。この日は時折小雨が降るあいにくの空模様でしたが、ひまわり畑では子ども達の声が元気いっぱい響いていました。

道路沿いに一台のバスが止まると、中から続々と子ども達が。明野幼稚園に通う子ども達がひまわりの種を蒔きにやってきました。迎え入れるのは、あけのひまわりの里実行委員会の松本会長と、高濱副会長。それぞれ地元で農家を営みながら、実行委員会のメンバーとして活動しています。松本会長からのお話が終わると、子ども達の手には「ミニひまわり」の種が配られ、元気よく蒔きが始まりました。

月ほど。その間も手入れは欠かせません。ひまわりの生長を促進させるために中耕作業や畑周辺の草刈などを行います。「一番大変なのは、やはり雑草です。広大な畑を委員会だけで除草することはとても難しいです」と松本会長。「ひまわりに除草剤をかけると枯れてしまつので、畑の中に生えている雑草はすべて手で抜かないといけないんです」と高濱副会長が続きます。

そこで力を発揮するのが、ボランティアの方々です。8月上旬、地域住民やイベントに出店する団体のメンバーなど約300名の方々が畑に集まり、早朝6時から除草作業が行われます。力強く咲き誇るひまわりですが、やはり雑草があると見事に咲くことはできません。しっかりとした花を咲かせようとするボランティアの方々の協力があつてこそ、見事に咲くひまわりを見ることができるようになります。



松本会長から子ども達にミニひまわりの種が配られます

元気に、きれいなひまわりが咲きますように



種を蒔いてから1週間ほどの八重ひまわりの芽

## 珍しい八重咲きのひまわりを見て欲しい

一般的にひまわりといえば、中心が茶色く、それを囲むように花びらが付いた「大輪ひまわり」という品種の花を想像しますが、あけのひまわりフェスティバルで咲くひまわりは「八重ひまわり」という品種。中心まで花びらが付いたボリュームのあるひまわりが咲きます。イベントの始まりは平成2年、当初は大輪ひまわりを育てていましたが、平成5年からは全国のひまわりフェスティバルでは珍しい八重ひまわりに変更しました」と松本会長。背丈ほどの八重ひまわりが視界を覆いつくし、その背景には見事な筑波山。その美しい光景にテレビや雑誌、新聞でも取り上げられる機会が増え、県外からも多くの見物客が訪れるイベントに育ちました。

そこで問題となったのが駐車場不足です。会場が畑なので駐車場がそもそもなく、周辺のあらゆる公共機関や中学校・高等学校の敷地を借りて補っているそうです。

## たくさんの人に喜んでもらいたい

畑の準備、蒔き、除草作業などの細やかな手入れを経て9日間開催される「あけのひまわりフェスティバル」。今年で29回目の開催となります。「幸い、これまでに畑を荒らされたりいたずらをされることはほとんどなく、たくさんの人に楽しんでもらえてるんだな」と実感しています。高濱副会長。見る人に元氣と癒しを与えてくれるひまわりは、今はまだ数センチほどの芽ですが、降り注ぐ太陽の

また、ひまわり畑の会場ですが、普段は秋から春にかけて麦の栽培が行われています。いくつかの区画の集合であるこの場所にはそれぞれに持ち主があり、会場地区の自治会長でもある松本会長や実行委員会の働きかけで、麦の栽培には使われない夏の間にだけひまわり畑として貸してもらっているのです。そのため、あけのひまわりフェスティバルの開催も、夏の終わりの8月下旬がスタートとなっているのです。



明野ひまわりの里実行委員会  
(右)会長 松本幸夫さん (左)副会長 高濱孝一さん



花びらが幾重にも重なっている八重ひまわりが一面に咲き誇ります

光と、地元住民からの愛情をたっぷり浴び、黄色い花畑となって咲き誇る光景が目まぶしくびます。「毎年、今年も立派に咲いてくれた、という思いで胸がいっぱいになります。でもこれは私だけではなく、除草作業やこのイベントに携わってくれた方、見守ってくれている地元の方皆さんも含めて一緒に気持ちだと思います。だからこそ、イベントが続いているんだと思います」と力強く語る松本会長。

たくさんの人に喜んでもらうために、手間を惜しまず愛情をかける人々がいます。それに応えるように、生命力に溢れたひまわりは一面黄色の花畑となって圧巻するように私たちの目を惹きつけてくれます。そしてまた今年も、元氣をもらいにたくさんの人々が会場を訪れることでしょう。

## 第29回 あけのひまわりフェスティバル

◎8月25日(土)～9月2日(日) ※予定 ◎場所／筑西市倉持地区(明野高等学校南東周辺)  
◎テント販売／9:00～16:00 ◎田畑のため見学は常時可

### 駐車場

筑西市倉持1123 居酒屋綾さん脇 徒歩約4分 / その他 会場付近に臨時駐車場有り  
(右記 土日のみ)明野高校(筑西市倉持1176)徒歩約4分 / 明野中学校(筑西市倉持1138)徒歩約8分(無料シャトルバス有り)

### 催事

- ◆切花園  
八重ひまわり5本300円(切り花園内の花に限り)
- ◆ラッピングコーナー  
別途100円でお好みの包装ができる「ラッピングコーナー」も併設します。
- ◆ひまわりキャンドルナイト(雨天順延)  
8月25日(土) 18:00～20:00  
夜のひまわり畑を照らすキャンドルライト、音楽ステージも開催予定!
- ◆ひまわりマーケット  
8月26日(日)  
手作り雑貨・ワークショップなど、26日限定のマーケット! お気に入りの作品に出会えるかも!
- ◆開城の祭典「どすこいべア」とつなぐシャトルバス  
9月2日(日)  
開城の祭典「どすこいべア」とひまわりフェスティバル会場をつなぐ無料シャトルバスが運行します!  
1日で筑西の2大イベントが楽しめるチャンスはここだけ!

